
丹南地域周遊・滞在型観光推進計画

平成29年3月

平成31年3月変更

丹南広域観光協議会

目次

I. 計画の策定の背景と目的	1
II. 丹南地域の観光の現状	5
1. 観光集客の状況	6
2. 観光客の属性	9
3. 宿泊の状況	15
4. 交通の状況	19
III. コンセプトとテーマ設定	24
IV. ターゲットの考え方	27
V. 観光資源に関する取組み	31
1. 伝統工芸の「美技」に触れる	32
2. 丹南の海の歴史・文化と暮らしを楽しむ	36
3. 丹南の宿場町・寺内町の歴史・文化と自然との暮らしを楽しむ	40
4. 特定テーマ	44
VI. モデルルート(例)	48
VII. 交通戦略	64
VIII. 宿泊戦略	70
IX. プロモーション戦略	74
X. 推進体制	78
XI. 評価指標	80
XII. 重点プロジェクト	82

I . 計画の策定の背景と目的

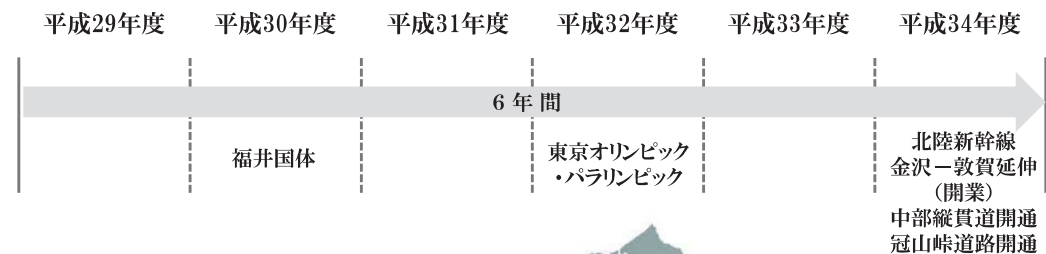
1. 計画策定の目的、期間、エリア

■ 計画策定の目的

- 丹南地域の5市町においては、現在、各市町において観光誘客に取り組んでいる。これらの取組を「点」のみならず、新たに「線」や「面」の効果的な取組により、広域的な周遊・滞在型観光推進エリアを創出し、 $1+1+1=3$ ではなく、 $1+1+1=5$ となるよう、観光地をエリアとしてさらにパワーアップすることを目的とし「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画」を策定する。

■ 計画策定の期間

平成29年度～平成34年度の6年間



■ 計画策定エリア

丹南地域の5市町

- 鯖江市
- 越前市
- 池田町
- 南越前町
- 越前町



2. 計画策定の進め方

■ 策定委員会の設置

- 計画策定にあたって、「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画策定委員会」を組織し、計5回委員会を開催した。

【委員名簿】

所属	役職	氏名
福井鉄道株式会社	代表取締役社長	村田 治夫
鯖江商工会議所	専務理事	孝久 治宏
鯖江観光協会	専務	田中 憲男
鯖江市	産業環境部長	中村 修一
鯖江市	商工政策課長	西村 郁夫
武生商工会議所	専務理事	西藤 浩一
越前市商工会	事務局長（平成28年9月30日まで）	細井 清治
越前市商工会	事務局長（平成28年10月1日から）	長谷川 作兵衛
越前市	産業環境部長	増田 順司
越前市	商業・観光振興課長、観光協会事務局長	西野 吉幸
池田町商工会	主任	川地 崇文
いけだ農村観光協会	会長	森田 五保利
池田町	総括監理官	溝口 淳
南越前町観光連絡協議会	事務局	加藤 信夫
南越前町商工会	事務局長	今村 正之
南越前町	観光まちづくり課長	大霜 求己
越前町商工会	事務局長	佐々木 義則
越前町観光連盟	事務局長	菅原 辰彦
越前町	商工観光課長	山谷 芳一
福井県	観光振興課長	高嶋 巖
福井県丹南広域組合	事務局長	飯田 忠志
福井県丹南広域組合	事務局次長兼総務課長	井藤 浩一

【委員会の開催概要】

第1回

平成28年5月24日(火)

- 座長の選出
- 計画策定スケジュールの検討
- 業者の選定審査

第2回

平成28年7月20日(水)

- 基礎調査の結果報告
- 計画骨子と観光コンセプトの検討
- 今後の進め方について

第3回

平成28年8月24日(水)

- ワーキングの開催結果報告
- 現段階の事業アイデア案の検討
- 今後の要検討事項について

第4回

平成28年10月19日(水)

- コンセプトとテーマ設定・ターゲットの考え方
- 観光資源に関する取組み
- モデルルート、交通戦略、宿泊戦略

第5回

平成28年12月21日(水)

- プロモーション戦略・推進体制
- 目標値の設置
- 計画全体の確認

2. 計画策定の進め方

■ その他の会議における検討

- 計画策定にあたって、下記の通り「課長・担当者会議」を9回開催し、民間事業者等を交えた観光資源の磨き上げのワーキングを5地域において行った。

【課長・担当者会議の開催概要】

【ワーキングの開催概要】

第1回 平成28年6月28日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査全般の進め方 ■ 基礎調査結果
第2回 平成28年7月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンセプト ■ ターゲット設定
第3回 平成28年8月17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワーキングの開催と検討結果 ■ 資源発掘・磨き上げの事業アイデア
第4回 平成28年9月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画骨子案 ■ 交通戦略 ■ 宿泊戦略
第5回 平成28年9月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画案 ■ 事業一覧
第6回 平成28年10月7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画案の精査 ■ 事業一覧の精査
第7回 平成28年10月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画案骨子について
第8回 平成28年11月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロモーション戦略 ■ 推進体制 ■ 目標値の設定
第9回 平成28年11月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画書の確認作業について

ワーキング	日時・場所	参加者
鯖江市ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年8月5日(金) ● うるしの里会館 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間・団体、組合、市
越前市ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年8月8日(月) ● 越前市文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間・団体、組合、協会、市
池田町ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年8月8日(月) ● 池田町役場 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協会、民間、町
南越前町ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年8月9日(火) ● 南越前町役場 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協会、民間、町
越前町ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年8月8日(月) ● 越前町役場 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町

Ⅱ. 丹南地域の観光の現状

1. 観光集客の状況

■ 観光集客数

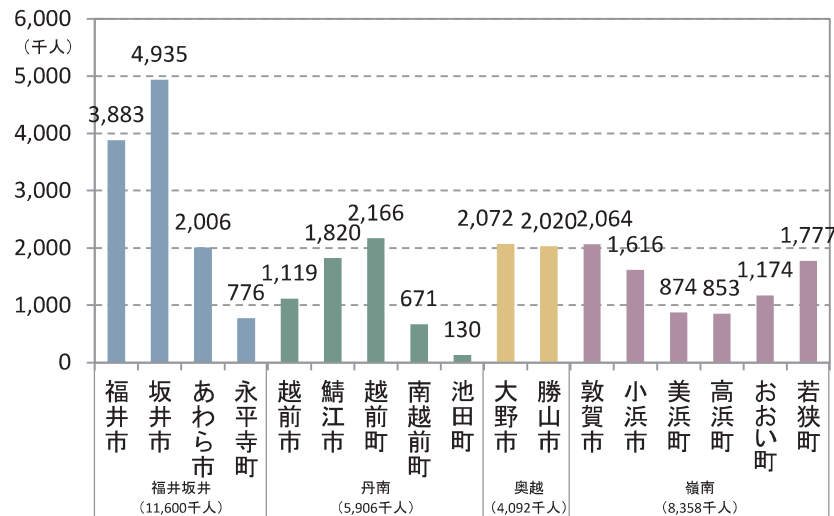
丹南地域への観光客数は年間約591万人で、県内4地域中3位

- 丹南地域の観光客数は平成27年は約591万人となっている。福井県内では福井坂井地域が1,160万人でトップであり、次いで嶺南地域の836万人となっている。丹南地域はあわら温泉や東尋坊がある福井坂井地域とは倍近い開きがある。
- 市町別にみると、丹南地域で最も観光客が多いのは越前町(約217万人)であり、次いで鯖江市(約182万人)、越前市(約112万人)、南越前町(約67万人)、池田町(13万人)となっている。

丹南地域は県外観光客が多く訪れる集客施設が少ないなど、県外観光客に対する集客力が弱い

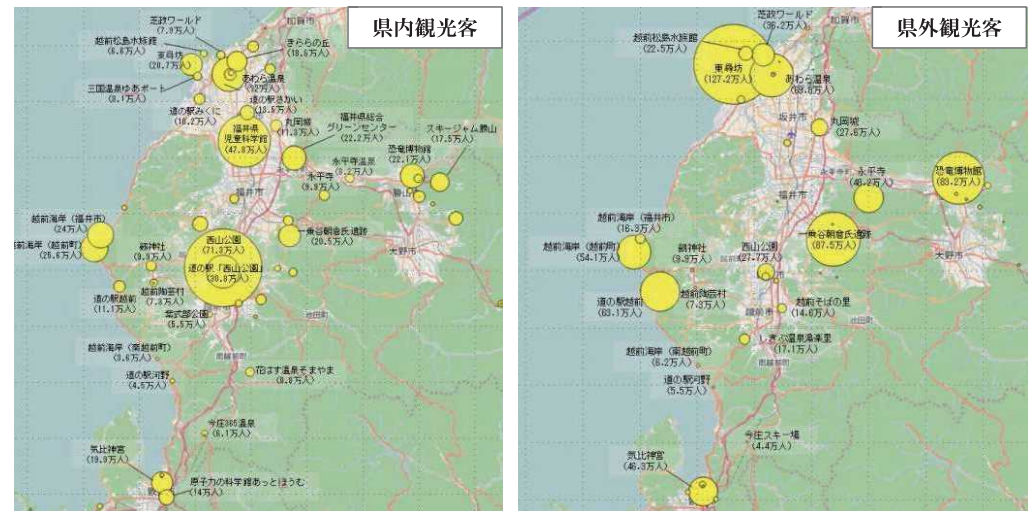
- 観光客を県内／県外別、観光施設別にみると、丹南地域で県外観光客が最も訪れるのは道の駅「越前」で63万人であり、次いで越前海岸で54万人、西山公園で28万人となっている。その他は10万人以下の施設がほとんどである。
- 丹南地域トップである道の駅「越前」や越前海岸も東尋坊(127万人)、あわら温泉(70万人)、恐竜博物館(83万人)と比較すると、県外観光客数は少ない。また県外観光客が40万人を超える集客施設が少ないのが丹南地域の現状である。

図表 福井県内の市町別観光客数(平成27年)



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)(平成27年)」

図表 福井県内の県内／県外別、観光施設別観光客数(平成27年)



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)(平成27年)」より作成

1. 観光集客の状況

■ 観光集客数の推移

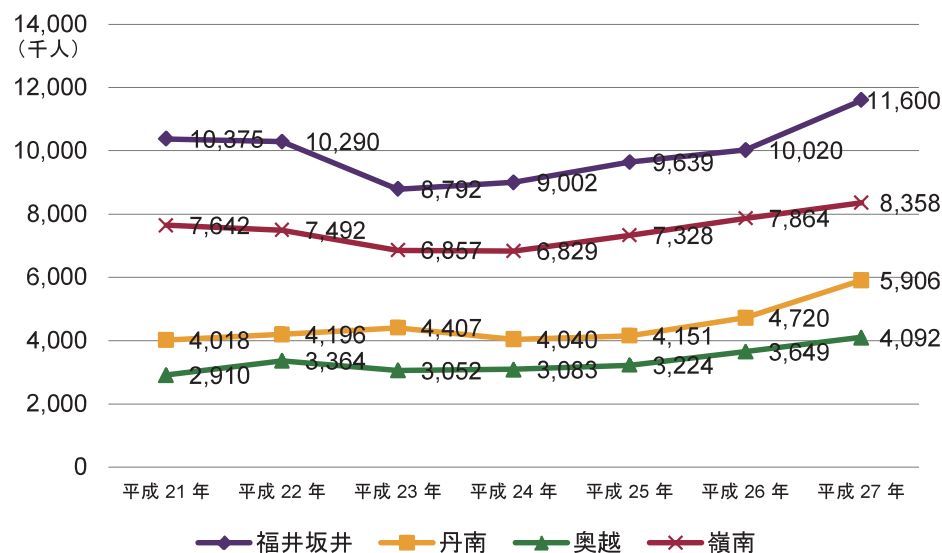
丹南地域への観光客数は増加傾向にある

- 丹南地域への観光客数の推移についてみると、近年右肩上がりの傾向がみられ、平成24～27年にかけて46%増加している(404万人⇒591万人)。
- なお、同じ期間に福井県内の各地域で観光客数が増加しているが、他地域の観光客数の伸び率は22～33%であり、丹南地域の伸び率が最も高い。

市町別にみると、越前町及び鯖江市の観光客数が増加している

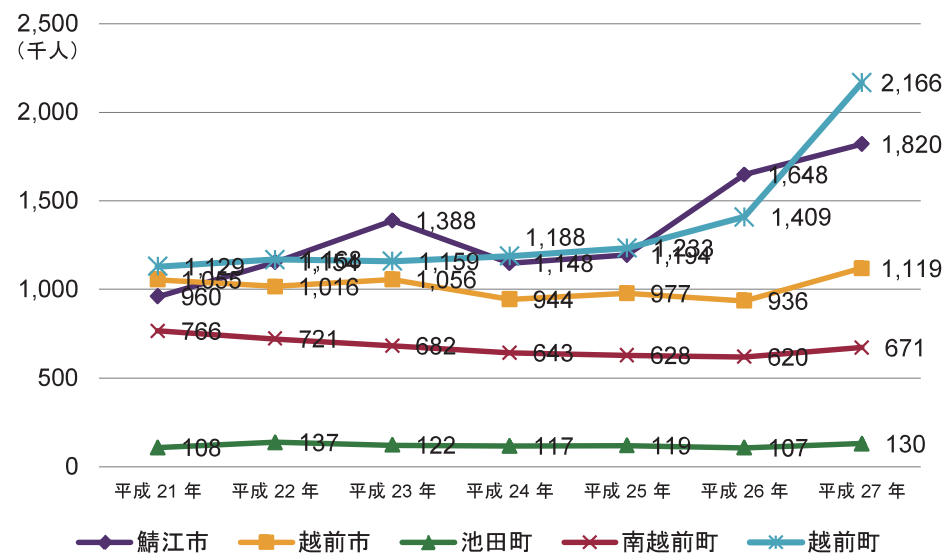
- 観光客数の推移を、丹南地域の各市町でみると、観光客数が増加しているのは越前町及び鯖江市である。特に越前町の伸びが著しく、平成27年の観光客数は鯖江市を抜いて217万人となっている。
- 一方で、越前市、南越前町、池田町については、観光客数は横ばいで推移している。

図表 福井県内の各地域の観光客数推移



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)」

図表 丹南地域各市町の観光客数推移



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)」

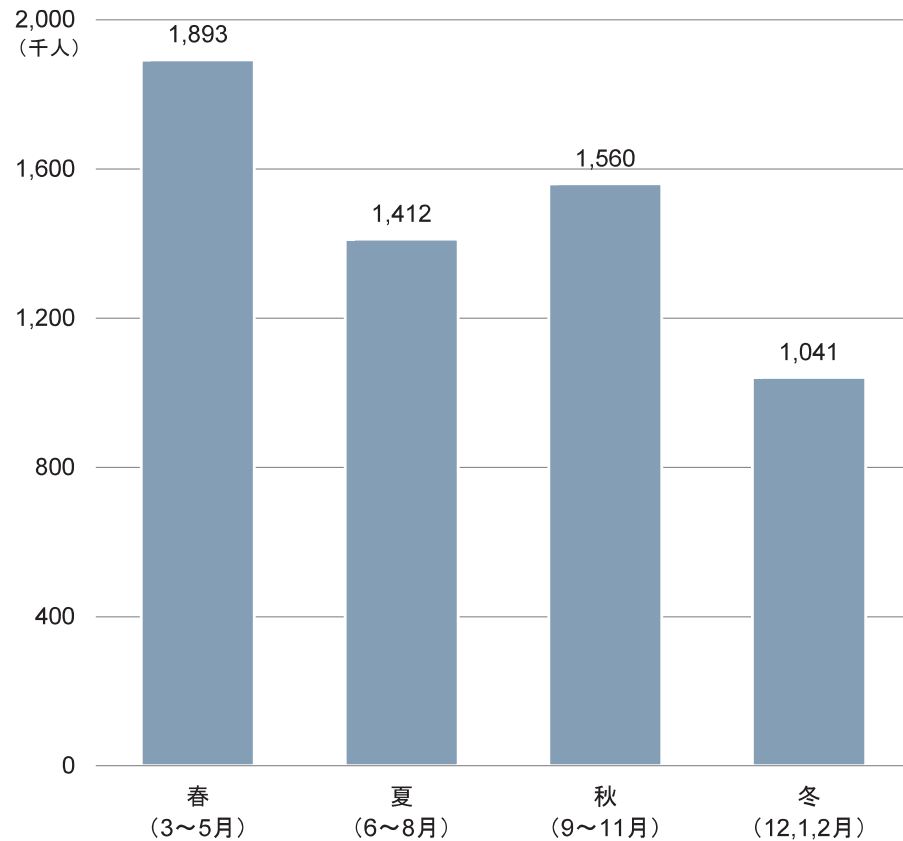
1. 観光集客の状況

■ 季節別の状況

丹南地域は冬の観光がやや弱い

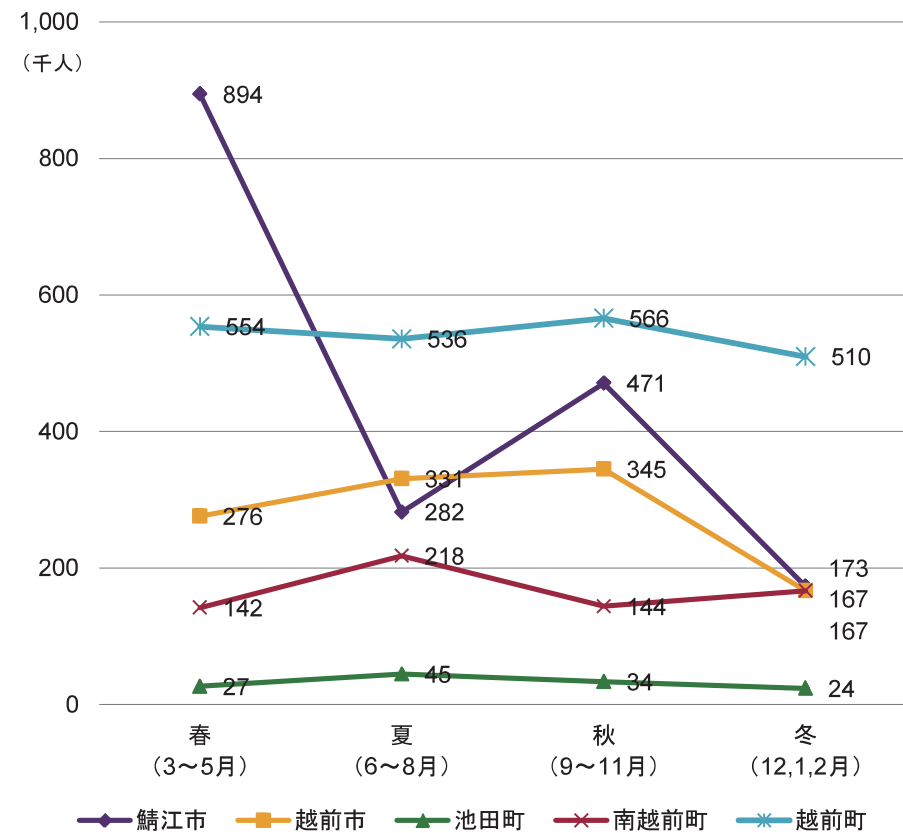
- 丹南地域の観光客数を季節別にみると、春(約189万人)が最も多く、次いで秋(約156万人)、夏(約141万人)、冬(約104万人)となっている。
- 冬の観光客数の減少は、鯖江市、越前市に起因するところが大きく、その他の市町は割と変動が少ない傾向が見られる。

図表 丹南地域の季節別観光客数推移(平成27年)



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)(平成27年)」

図表 丹南地域の市町別季節別観光客数推移(平成27年)



(出所) 福井県「福井県観光客入込数(推計)(平成27年)」

2. 観光客の属性

■ 丹南地域を訪れる観光客の属性(年齢別)

丹南地域を訪れる県外観光客の76%は40歳代以上。県内他地域と比較し30歳代以下が少ない

- 県外観光客の年齢を見ると、丹南地域を訪れている人は40歳代以上が約76%を占め、県内他地域と比較し30歳代以下が少ない。県外の若者や子育て世代の観光客の観光目的となる観光資源が少ないことが理由と推察される。

丹南地域の取組次第で30歳代以下の世代を誘客できる周辺環境は存在する

- 一方、芝政ワールド等がある福井坂井地域には20歳代・30歳代の観光客が多く訪れており、取組次第でこれらの世代を誘客できる周辺環境はあると言える。

図表 丹南地域を訪れる観光客の属性(年齢別)

観光客種別	訪問地域	観光客年齢									
		合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
上段:件数 下段:%		合計	2,146	20	222	398	429	366	502	191	18
			100.0	0.9	10.3	18.5	20.0	17.1	23.4	8.9	0.8
県内 観光客	合計	2,146	20	222	398	429	366	502	191	18	
		100.0	0.9	10.3	18.5	20.0	17.1	23.4	8.9	0.8	
	福井坂井	652	6	83	106	128	119	158	47	5	
		100.0	0.9	12.7	16.3	19.6	18.3	24.2	7.2	0.8	
	丹南	1,277	5	111	226	248	213	325	139	10	
	100.0	0.4	8.7	17.7	19.4	16.7	25.5	10.9	0.8		
奥越	138	1	17	38	41	17	14	9	1		
	100.0	0.7	12.3	27.5	29.7	12.3	10.1	6.5	0.7		
嶺南	260	8	34	60	55	46	42	11	4		
	100.0	3.1	13.1	23.1	21.2	17.7	16.2	4.2	1.5		
県外 観光客	合計	5,054	32	576	1,031	1,171	1,033	916	260	35	
		100.0	0.6	11.4	20.4	23.2	20.4	18.1	5.1	0.7	
	福井坂井	3,110	21	394	646	714	617	541	153	24	
		100.0	0.7	12.7	20.8	23.0	19.8	17.4	4.9	0.8	
	丹南	1,616	4	117	274	372	363	359	114	13	
	100.0	0.2	7.2	17.0	23.0	22.5	22.2	7.1	0.8		
奥越	1,326	10	175	381	363	194	163	33	7		
	100.0	0.8	13.2	28.7	27.4	14.6	12.3	2.5	0.5		
嶺南	1,069	8	113	158	226	274	236	46	8		
	100.0	0.7	10.6	14.8	21.1	25.6	22.1	4.3	0.7		

2. 観光客の属性

■ 丹南地域を訪れる観光客の属性(地域別・年齢別)

丹南地域を訪れている県外観光客は「関西」「中京」が多い。いずれの圏域も「40歳代以上」が多い

- 丹南地域を訪れている県外観光客を圏域別にみると、「関西」(約41%)が最も多く次いで「中京」(約35%)となっている。県外のいずれの圏域も「40歳代以上」の占める割合が高い。関東は「30歳代」の割合が最も高い。

図表 丹南地域を訪れている観光客の圏域と年齢

観光客種別	居住地	観光客年齢								
		合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
上段: 件数 下段: %										
合計		2,893 100.0	9 0.3	228 7.9	500 17.3	620 21.4	576 19.9	684 23.6	253 8.7	23 0.8
【参考】県内観光客		1,277 100.0	5 0.4	111 8.7	226 17.7	248 19.4	213 16.7	325 25.5	139 10.9	10 0.8
県外 観光客	北陸(福井県以外)	205 100.0	1 0.5	17 8.3	32 15.6	48 23.4	46 22.4	46 22.4	14 6.8	1 0.5
	中京	568 100.0	2 0.4	40 7.0	94 16.5	118 20.8	131 23.1	128 22.5	49 8.6	6 1.1
	関西	665 100.0	0 0.0	48 7.2	121 18.2	171 25.7	150 22.6	131 19.7	38 5.7	6 0.9
	関東	71 100.0	1 1.4	5 7.0	17 23.9	13 18.3	15 21.1	16 22.5	4 5.6	0 0.0
	その他	107 100.0	0 0.0	7 6.5	10 9.3	22 20.6	21 19.6	38 35.5	9 8.4	0 0.0

※県外観光客の20%以上を青太字

	圏域	件数	
		件数	%
県外 観光客	北陸(福井県以外)	205	12.7
	中京	568	35.1
	関西	665	41.2
	関東	71	4.4
	その他	107	6.6
	合計	1,616	100.0

2. 観光客の属性

■ 丹南地域を訪れる観光客の属性(地域別・年齢別)

いずれの世代も県外観光客に人気なのは「越前海岸」「越前そばの里」「道の駅「河野」」「越前がにミュージアム」等

- いずれの世代も県外観光客に人気なのは「越前海岸」「越前そばの里」「道の駅「河野」」「越前がにミュージアム」等
- 30歳代、40歳代には上記の他「今庄365スキー場」が人気。40歳代以上に「福井県陶芸館」が人気。その他、いずれの世代にも「西山公園」や「アクティブハウス越前」が人気。

図表 県外観光客の訪問観光地(丹南地域)

	全合計	合計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上	
		件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位	件数	順位
越前町	越前海岸(越前町)	413	1	2	1	31	1	72	1	84	1	96	1	94	1	31	1	3	2
越前市	越前そばの里	340	2			28	2	50	2	67	2	75	2	88	2	28	3	4	1
南越前町	道の駅「河野」	286	3			25	3	40	3	57	3	64	3	69	3	29	2	2	3
越前町	越前がにミュージアム	195	4	2	1	18	4	37	4	57	3	39	5	33	5	8	6	1	7
鯖江市	西山公園	190	5			14	5	35	5	39	6	53	4	38	4	11	4		
越前町	福井県陶芸館	112	6	1	3	8	6	17	8	20	8	28	6	29	6	9	5		
越前町	アクティブハウス越前	97	7	1	3	6	7	20	7	25	7	19	8	21	8	3	9	2	3
越前市	パピルス館	85	8			4	8	9	9	19	9	22	7	23	7	7	7	1	7
南越前町	今庄365スキー場	63	9					21	6	40	5	1	25	1	25				
越前町	露天風呂「漁火」	59	10			3	10	9	9	13	11	11	12	19	9	4	8		
南越前町	越前海岸(南越前町)	54	11			2	12	7	12	17	10	12	10	12	10	3	9	1	7
鯖江市	めがねミュージアム	45	12			4	8	9	9	9	12	12	10	7	13	2	12	2	3
越前町	露天風呂「日本海」	42	13	1	3	3	10	7	12	9	12	13	9	6	14	1	18	2	3
越前町	越前岬水仙ランド	32	14			1	15	4	15	8	14	7	15	10	12	2	12		
越前市	越前めがねの里	28	15					3	16	2	23	11	12	12	10				
越前町	越前陶芸村	25	16			1	15	1	23	4	18	10	14	6	14	2	12	1	7
越前市	紙の文化博物館	23	17			2	12	5	14	8	14	4	17	2	22	2	12		
鯖江市	道の駅「西山公園」	18	18			2	12	2	19	2	23	6	16	4	16	2	12		
鯖江市	うるしの里会館	12	19					3	16	3	20	2	20	4	16				
越前市	卯立の工芸館	11	20					3	16	5	16	2	20	1	25				
越前市	しきぶ温泉「湯楽里」	10	21							3	20	4	17	3	20				
越前町	道の駅「パークイン丹生ヶ丘」	9	22			1	15	1	23	2	23	1	25	4	16				
越前市	タケフナイフビレッジ	8	23					1	23	1	27	1	25	2	22	3	9		
越前町	越前陶芸村文化交流会館	8	23					2	19	3	20	1	25			2	12		
南越前町	リゾートたくら	7	25					2	19	4	18	1	25						
池田町	かずら橋	6	26			1	15	2	19			1	25	2	22				
南越前町	今庄365温泉「やすらぎ」	6	26							5	16			1	25				
越前町	劔神社	6	26			1	15			1	27	1	25	3	20				
池田町	溪流温泉冠荘	5	29					1	23			2	20	1	25	1	18		
越前町	泰澄の杜	5	29					1	23					4	16				

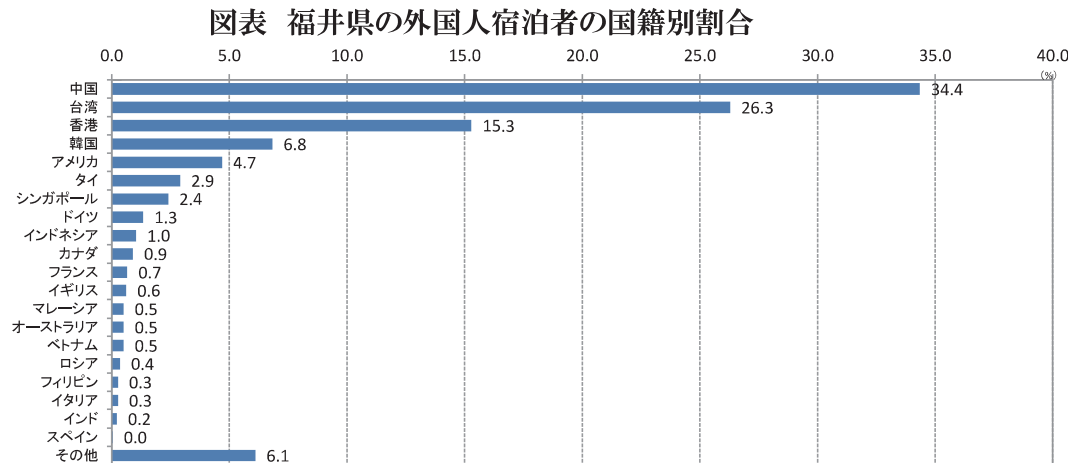
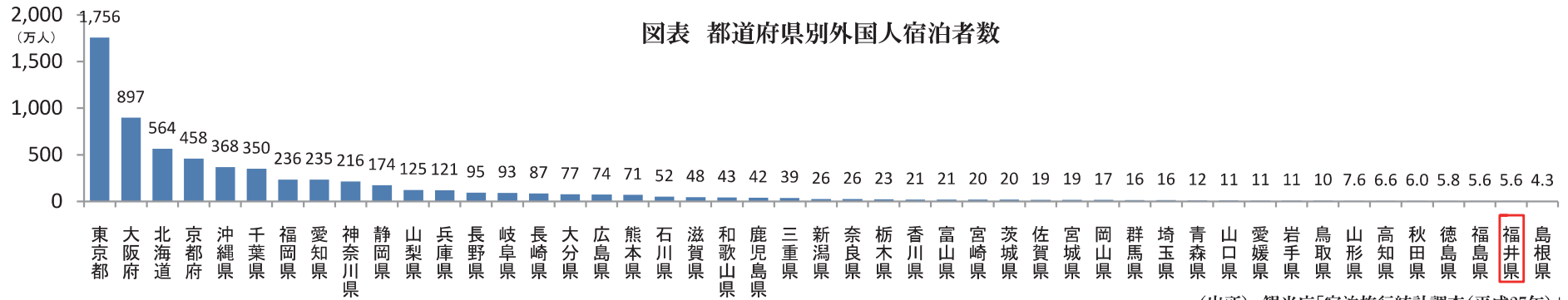
※件数50件以上を青文字。件数20件以上を緑文字

2. 観光客の属性(外国人観光客)

■ 福井県の外国人観光客

福井県の外国人観光客は発展途上。現状では東アジアが多く、県も同市場を重点ターゲットと位置づける

- 福井県の外国人観光客は平成27年で宿泊者数ベースで5万6千人と、47都道府県中46位という非常に低位置にある。
- 国籍別にみると中国、台湾、香港、韓国、アメリカ、タイ、シンガポールの順となっており、大半が東アジアとなっている。
- 福井県観光新戦略では台湾、香港、中国、タイ、シンガポールを重点市場と位置づけ、他県と連携してプロモーションを強化することとしている。



図表 「福井県観光新戦略」における海外の重点市場

基本戦略6 世界から招く

[方向性・目指す姿]

外国人旅行者数が増加傾向にある東アジアおよび東南アジアの5つの国と地域(台湾、香港、中国、タイ、シンガポール)を本県の重点市場として位置付け、他県とも連携して観光プロモーションを強化します。

(出所) 福井県「福井県観光新戦略(平成27年3月)」

2. 観光客の属性(外国人観光客)

■ 石川県における外国人観光客の動向

石川県はアジアに加え欧米が多いのが特徴

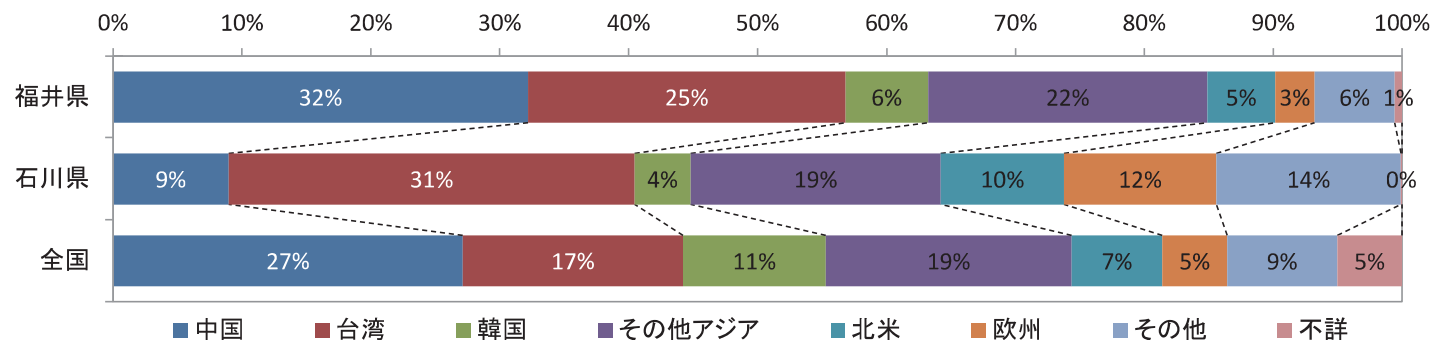
- 現時点で丹南地域が単体で多くの外国人観光客を誘客することは困難と考えられる。丹南地域が十分な誘客力を身に着けるまでは、福井県・石川県等の周辺地域と協調していく必要がある。
- その視点から石川県の動向を見てみると、石川県の外国人宿泊者数は約52万人と福井県と比べると約9倍となっている。欧州・北米が合わせて22%（平成26年は12%）と欧米の比率が高いのが特徴である。
- また石川県では、台湾・韓国をはじめ、近隣アジア諸国、欧米豪などをターゲットとした誘客プロモーションに助成（海外誘客民間活動支援奨励助成金）を行っており、これらの国々がターゲット市場となっていると伺える。

■ 小松空港

現在の小松空港就航国は韓国・中国・台湾。地方空港への国際線就航が進んでおり、今後も注視が必要

- 外国人観光客の誘客に最も影響を与える要因の1つが、近隣空港における国際線の就航状況である。丹南地域から最も近い空港は「小松空港」である。同空港に就航している路線は現在のところソウル（韓国）、上海（中国）、台北（台湾）となっている。
- 現在、外国人観光客が増加しつつある地方空港にも国際線の就航が増加しており、国土交通省においても、外国人観光客の地方への訪問を円滑にするため、着陸料軽減に取り組んでいる。
- 今後も地方空港への国際線就航が進むと推察されることから、小松空港の動向については注視していく必要がある。

図表 外国人宿泊者の国籍内訳



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査(平成27年)」

図表 小松空港の就航路線



(出所) 小松空港HP

2. 観光客の属性(外国人観光客)

■ 外国人の訪日への期待

欧米系の観光客と丹南地域の観光資源の調和性は高い

- 観光庁「平成27年外国人消費動向調査」を用いて、丹南地域の特徴である「日本食(越前がに、越前そば等)」、「旅館(越前海岸の旅館等)」、「自然・農業・漁業(自然体験、漁船体験等)」、「伝統文化体験(伝統工芸体験等)」は、アジア系の観光客よりも欧米系の観光客の旅行目的との調和性が高い。

図表 外国人の訪日への期待

	全体	アジア系					欧米等						関連する丹南地域の観光資源
		韓国	台湾	香港	中国	タイ	イギリス	フランス	イタリア	アメリカ	カナダ	オーストラリア	
日本食を食べること	69.7	65.2	68.3	77.7	63.9	79.7	73.7	80.3	80.6	76.5	78.2	81.2	→ 越前がに、越前そば等
日本の酒を飲むこと(日本酒・焼酎等)	20.6	24.3	15.4	13.8	13.3	18.2	39.3	34.0	39.9	37.2	41.3	44.0	
旅館に宿泊	20.5	10.7	25.5	24.1	22.7	21.5	17.4	26.7	33.9	18.2	22.0	28.1	→ 越前海岸の旅館等
温泉入浴	29.8	30.2	29.4	30.4	35.7	33.9	20.1	32.3	26.3	19.6	27.5	30.7	
自然・景勝地観光	44.0	27.7	50.6	49.2	47.9	53.5	42.0	45.0	48.2	41.0	51.0	54.0	
繁華街の街歩き	39.0	25.3	44.8	44.3	43.9	48.7	31.8	41.2	36.2	35.3	42.1	44.8	
ショッピング	55.3	43.1	63.0	68.4	63.5	67.1	32.0	42.6	42.9	37.7	42.4	49.9	
美術館・博物館	12.5	5.5	10.7	11.4	9.4	19.7	26.4	30.8	30.4	22.5	23.3	27.2	
テーマパーク	16.4	11.7	22.6	20.1	16.4	20.5	6.8	10.1	11.7	8.5	10.5	17.2	
スキー・スノーボード	4.2	0.9	5.2	4.2	3.5	11.0	3.8	3.0	3.0	4.1	5.5	19.5	
その他スポーツ(ゴルフ等)	2.0	1.9	2.3	1.2	1.1	3.5	2.2	2.4	3.9	3.4	3.6	3.8	
舞台鑑賞(歌舞伎・演劇・音楽等)	4.3	2.5	2.9	2.4	3.2	7.1	10.4	9.6	12.8	10.0	9.9	7.6	
スポーツ観戦(相撲・サッカー等)	2.9	1.4	2.5	1.4	1.2	4.6	8.6	11.3	9.1	6.6	8.7	10.3	
自然体験ツアー・農漁村体験	5.5	1.6	6.0	6.1	3.6	11.9	8.1	11.2	13.4	8.0	10.7	8.3	→ 自然体験、漁船体験等
四季の体感(花見・紅葉・雪等)	10.0	2.5	12.2	13.5	8.1	19.4	14.6	14.3	19.5	11.9	14.5	17.9	
映画・アニメゆかりの地を訪問	4.4	3.2	3.8	3.7	4.3	6.6	6.6	10.6	5.8	5.5	6.8	5.0	
日本の歴史・伝統文化体験	16.7	7.2	14.2	10.6	11.6	24.5	39.4	38.7	38.0	36.6	38.8	36.5	→ 伝統工芸体験等
日本の日常生活体験	15.4	6.3	15.0	13.1	11.4	20.8	33.4	38.6	33.6	28.7	32.5	31.0	
日本のポップカルチャーを楽しむ	9.2	6.3	9.7	10.7	7.3	13.2	13.8	21.7	14.3	13.1	17.0	14.6	
治療・健診	1.1	0.3	1.1	1.3	1.3	4.1	0.2	0.9	0.9	1.1	1.6	0.2	

(出所) 観光庁「訪日外国人消費動向調査(平成27年)」

※同調査で回答数が2千サンプル以上あった国籍のみ抜粋
※全体平均より5ポイント以上のセルを緑に色塗り

3. 宿泊の状況

■ 福井県内の宿泊施設の状況

福井県で宿泊施設が集積しているのは福井市、敦賀市、あわら市

- 福井県で宿泊施設の集積が多いエリアは福井市、敦賀市、あわら市である。

丹南地域で宿泊施設が集積しているのは鯖江市、越前市、越前町

- 丹南地域の越前町も比較的、集積しており、丹南地域ではその他、鯖江市、越前市にも宿泊施設の集積がある。

図表 福井県内の宿泊施設の状況



(出所)平成22年度(株)旅行出版社「宿泊施設データ」「宿泊収容人数」をもとに作成

3. 宿泊の状況

■ 県内・県外観光客の日帰り／宿泊の状況

丹南地域を訪れる県外観光客は、他の地域に比べて「日帰り」の割合が高い

- 丹南地域を訪れる県外観光客の日帰り*の割合は約53%と、福井坂井地域(約28%)、奥越地域(約28%)、嶺南地域(約46%)といった他地域を大幅に上回っている。 ※日帰り=各地域に宿泊していないということではなく、県内外含めて宿泊せず日帰りということ

図表 県内・県外×訪問地域×日帰り・宿泊

観光客種別	訪問地域	日帰り／宿泊の別				
		合計	日帰り	県内のみ に宿泊	県外・県内 に宿泊	県外のみ に宿泊
上段: 件数 下段: %						
県内 観光客	合計	2,146 100.0	2,077 96.8	56 2.6	2 0.1	11 0.5
	福井坂井	652 100.0	620 95.1	26 4.0	1 0.2	5 0.8
	丹南	1,277 100.0	1,250 97.9	20 1.6	1 0.1	6 0.5
	奥越	138 100.0	125 90.6	12 8.7	1 0.7	-
	嶺南	260 100.0	250 96.2	10 3.8	-	-
県外 観光客	合計	5,054 100.0	2,007 39.7	2,159 42.7	310 6.1	578 11.4
	福井坂井	3,110 100.0	867 27.9	1,563 50.3	263 8.5	417 13.4
	丹南	1,616 100.0	854 52.8	564 34.9	56 3.5	142 8.8
	奥越	1,326 100.0	375 28.3	722 54.4	89 6.7	140 10.6
	嶺南	1,069 100.0	489 45.7	433 40.5	60 5.6	87 8.1

※県外観光客の50%以上を青太字

3. 宿泊の状況

■ 県内・県外観光客の日帰り／宿泊の状況

福井県の周辺県及び愛知県から丹南地域に訪れる観光客は日帰りが多い。大阪府・兵庫県は宿泊が多い

- 都道府県別にみると県外で最も丹南地域を訪れているのは愛知県で、次いで大阪府、滋賀県、京都府、石川県、岐阜県となっている。
- 上記、府県については大阪府を除き、いずれの圏域においても日帰り率が50%以上となっている。
- 関西の遠方府県(大阪府・兵庫県)では宿泊率が高い一方、中京の遠方県(愛知県・三重県)では日帰り率が高い。

図表 丹南地域の観光客×都道府県別×日帰り・宿泊

訪問地域	区分		件数				%					
	居住圏域	都道府県	合計	日帰り	県内のみ に宿泊	県外・県 内に宿泊	県外のみ に宿泊	合計	日帰り	県内のみ に宿泊	県外・県 内に宿泊	県外のみ に宿泊
丹南地域 を訪れる 観光客		合計	2,893	2,104	584	57	148	100.0	72.7	20.2	2.0	5.1
	北陸	福井県	1,277	1,250	20	1	6	100.0	97.9	1.6	0.1	0.5
	中京	愛知県	343	202	122	4	15	100.0	58.9	35.6	1.2	4.4
	関西	大阪府	208	69	106	8	25	100.0	33.2	51.0	3.8	12.0
	関西	滋賀県	191	138	44	2	7	100.0	72.3	23.0	1.0	3.7
	関西	京都府	161	101	48	3	9	100.0	62.7	29.8	1.9	5.6
	北陸	石川県	157	135	14	0	8	100.0	86.0	8.9	0.0	5.1
	中京	岐阜県	147	93	39	1	14	100.0	63.3	26.5	0.7	9.5
	中京	三重県	78	40	28	2	8	100.0	51.3	35.9	2.6	10.3
	関西	兵庫県	68	15	40	2	11	100.0	22.1	58.8	2.9	16.2
	北陸	富山県	42	21	13	1	7	100.0	50.0	31.0	2.4	16.7
	関東	東京都	28	1	18	6	3	100.0	3.6	64.3	21.4	10.7
	関西	奈良県	28	9	14	0	5	100.0	32.1	50.0	0.0	17.9
	その他	静岡県	27	11	8	1	7	100.0	40.7	29.6	3.7	25.9
	その他	長野県	17	1	12	3	1	100.0	5.9	70.6	17.6	5.9
	関東	神奈川県	15	3	8	4	0	100.0	20.0	53.3	26.7	0.0
	関東	埼玉県	12	2	6	3	1	100.0	16.7	50.0	25.0	8.3
	北陸	新潟県	12	6	5	0	1	100.0	50.0	41.7	0.0	8.3
その他	岡山県	11	1	8	0	2	100.0	9.1	72.7	0.0	18.2	

回答者
100件以上

※日帰りの割合が50%を青文字

3. 宿泊の状況

■ 県内・県外観光客の宿泊市町

「福井市」、「あわら市」に宿泊する割合が高く、丹南地域も同様の傾向にある

- 福井県を訪れた県外観光客が宿泊している市町として多いのは「あわら市」(約19%)、「福井市」(約13%)となっている。
- 丹南地域を訪れる県外観光客が宿泊している市町として多いのは「福井市」(約12%)となっている。次いで「あわら市」(約9%)だが、他地域(福井坂井:約24%、奥越:約22%、嶺南:約13%)に比べるとその割合は非常に低い。(あわら市の宿泊とセットでの観光が少ない)
- 一方、越前町(約7%)、越前市(約6%)となっており、丹南地域での宿泊率は他の地域に比べて高い。

図表 県内・県外×訪問地域×宿泊市町(福井坂井地域、丹南地域)

観光客種別	訪問地域	宿泊地									
		合計	福井坂井地域				丹南地域				
上段:件数	下段:%		福井市	あわら市	坂井市	永平寺町	鯖江市	越前市	池田町	南越前町	越前町
県内 観光客	合計	58	3	6	2	-	-	1	2	-	3
		100.0	5.2	10.3	3.4	-	-	1.7	3.4	-	5.2
	福井坂井	27	2	6	2	-	-	-	-	-	-
		100.0	7.4	22.2	7.4	-	-	-	-	-	-
	丹南	21	2	-	-	-	-	1	2	-	3
	100.0	9.5	-	-	-	-	4.8	9.5	-	14.3	
	奥越	13	1	-	1	-	-	-	-	-	-
		100.0	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	-
	嶺南	10	1	-	-	-	-	-	1	-	-
		100.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-
県外 観光客	合計	2,465	325	474	110	11	39	55	1	3	57
		100.0	13.2	19.2	4.5	0.4	1.6	2.2	0.0	0.1	2.3
	福井坂井	1,824	269	443	106	8	19	25	-	2	30
		100.0	14.7	24.3	5.8	0.4	1.0	1.4	-	0.1	1.6
	丹南	618	74	58	15	2	28	36	1	1	41
	100.0	12.0	9.4	2.4	0.3	4.5	5.8	0.2	0.2	6.6	
	奥越	810	147	175	41	5	6	10	-	2	16
		100.0	18.1	21.6	5.1	0.6	0.7	1.2	-	0.2	2.0
	嶺南	493	61	66	16	-	12	16	1	2	19
		100.0	12.4	13.4	3.2	-	2.4	3.2	0.2	0.4	3.9

4. 交通の状況

■ 交通の状況

丹南地域を訪れる県外観光客の85%が「自家用車」を利用。福井県の平均よりも高い

- 丹南地域を訪れる県外観光客の1次交通の手段は85%が「自家用車」となっており、福井県の平均(約80%)より約5ポイント高くなっている。
- 次いで「貸切バス・観光バス」(約10%)となっており、この割合も福井県の平均よりも高い。
- 丹南地域はJR新幹線(0.2%)、JR在来線(0.6%)と鉄道の割合が非常に低い。(福井坂井地域は比較的高い)

図表 県内・県外×訪問地域×1次交通機関

観光客種別	訪問地域	1次交通手段												
		合計	JR新幹線	JR在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
上段: 件数	合計	2,146	-	4	7	-	3	-	6	1	1	2	1,966	156
	下段: %	100.0	-	0.2	0.3	-	0.1	-	0.3	0.0	0.0	0.1	91.6	7.3
県内 観光客	福井坂井	652	-	2	5	-	2	-	4	1	1	-	597	40
		100.0	-	0.3	0.8	-	0.3	-	0.6	0.2	0.2	-	91.6	6.1
	丹南	1,277	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1,183	91
		100.0	-	-	0.1	-	0.1	-	-	-	-	0.1	92.6	7.1
	奥越	138	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	134	1
	100.0	-	-	0.7	-	-	-	1.4	-	-	-	97.1	0.7	
	嶺南	260	-	2	-	-	-	-	-	-	1	222	35	
	100.0	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	0.4	85.4	13.5	
県外 観光客	合計	5,053	104	145	16	1	445	18	80	2	19	128	4,021	74
		100.0	2.1	2.9	0.3	0.0	8.8	0.4	1.6	0.0	0.4	2.5	79.6	1.5
	福井坂井	3,109	82	91	14	1	214	17	54	2	14	109	2,467	44
		100.0	2.6	2.9	0.5	0.0	6.9	0.5	1.7	0.1	0.5	3.5	79.4	1.4
	丹南	1,616	4	10	1	-	167	1	5	-	2	22	1,373	31
	100.0	0.2	0.6	0.1	-	10.3	0.1	0.3	-	0.1	1.4	85.0	1.9	
	奥越	1,326	38	38	4	-	39	3	4	1	-	32	1,154	13
	100.0	2.9	2.9	0.3	-	2.9	0.2	0.3	0.1	-	2.4	87.0	1.0	
	嶺南	1,069	11	39	1	-	225	1	25	-	4	18	727	18
	100.0	1.0	3.6	0.1	-	21.0	0.1	2.3	-	0.4	1.7	68.0	1.7	

4. 交通の状況

■ 交通の状況

丹南地域を訪れる人は1次交通⇒2次交通の乗り替えはほとんど見られない

- 丹南地域を訪れる県外観光客は1次交通⇒2次交通の乗り替えはほとんど見られない。
- 一方、福井坂井地域は「貸切バス・観光バス」、「市内バス」、「レンタカー」への乗り替えが多くみられる。新幹線や在来線等で訪れ、これらの2次交通へ乗り替えていると思われる。
- 福井市が鉄道の結節点となっているとともに、2次交通手段(市バス、レンタカー、観光バス等)の施設が充実しているためと思われる。

図表 2次交通の利用者から1次交通の利用者を引いた数・割合(交通手段を乗り替えた人数・割合の目安)

観光客種別	訪問地域	2次交通-1次交通												
		合計	JR新幹線	JR在来線	私鉄・地下鉄	モノレール	貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車	タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
県内 観光客	上段: 件数													
	下段: %													
	合計	2,145	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-2	97	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	4.5	
	福井坂井	652	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
丹南	1,276									1	-2	97		
	100.0									0.1	-0.2	7.6		
奥越	138				0			0				0	0	
	100.0				0.0			0.0				0.0	0.0	
嶺南	260		0								0	0	1	
	100.0		0.0								0.0	0.0	0.4	
県外 観光客	合計	5,052	-2	-7	9		22	-4	50	2	14	57	15	51
		100.0	0.0	-0.1	0.2		0.4	-0.1	1.0	0.0	0.3	1.1	0.3	1.0
	福井坂井	3,109	0	-4	8		19	-3	43	2	9	48	11	11
		100.0	0.0	-0.1	0.3		0.6	-0.1	1.4	0.1	0.3	1.5	0.4	0.4
	丹南	1,615	-1	-1	0		1		3		3	2	5	38
		100.0	-0.1	-0.1	0.0		0.1		0.2		0.2	0.1	0.3	2.4
奥越	1,326	-1	-1	4		4	-2	12	2		34	5	8	
	100.0	-0.1	-0.1	0.3		0.3	-0.2	0.9	0.2		2.6	0.4	0.6	
嶺南	1,069	-1	0	2		3		6		5	8	3	11	
	100.0	-0.1	0.0	0.2		0.3		0.6		0.5	0.7	0.3	1.0	

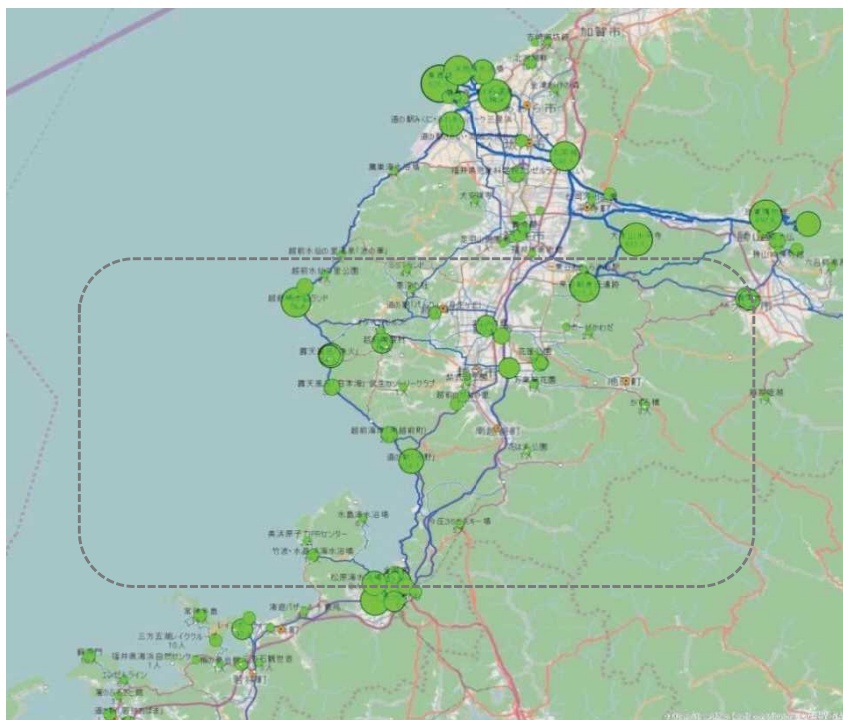
4. 交通の状況

■ 交通の状況

丹南地域は南北の移動が多く、東西の移動が少ない

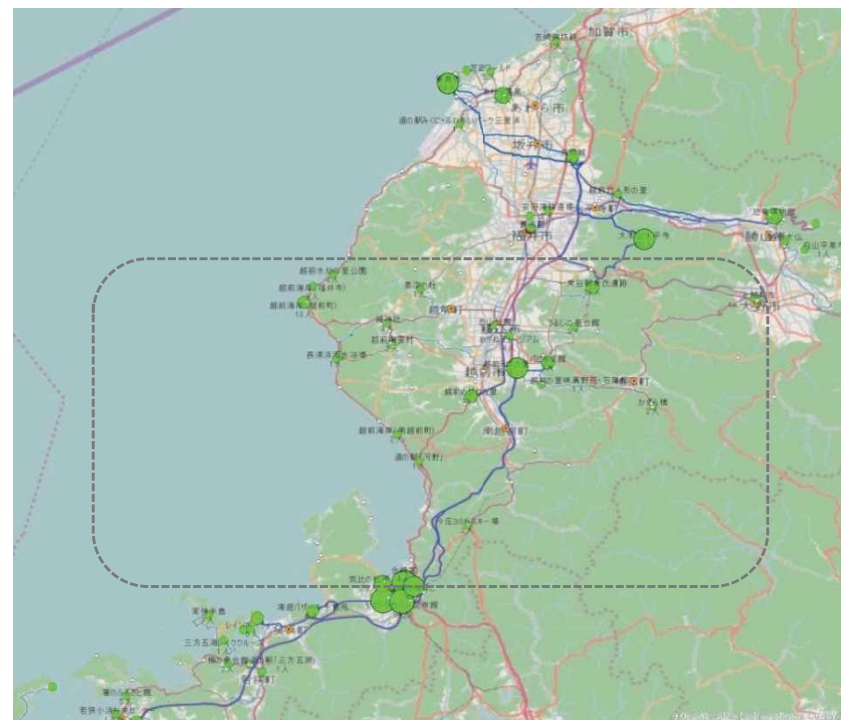
- 前述した通り、丹南地域を訪れる人の85%は自家用車を使用している。
- 自家用車を使用する観光客が利用しているルートを見てみると、南の敦賀市を起点に、越前海岸沿いの国道305号と、越前市・鯖江市等を通る国道8号・北陸自動車道の、南北の移動が中心となっている。
- また団体バスについては北陸自動車道を通る南北の移動が中心となっている。
- 越前市から越前海岸に向かう国道365号、池田町から越前町に向かう国道417号など、東西の移動は現状では少ない。

図表 自家用車の観光ルート(1次交通手段を除く)



※点線は丹南地域の概ねのエリア

図表 団体バスの観光ルート(1次交通手段を除く)



※点線は丹南地域の概ねのエリア

4. 交通の状況

■ 今後の交通に関わる動向

北陸新幹線の金沢－敦賀間の開業 /平成34年度末

- 平成27年3月14日に北陸新幹線が開業し、関東方面から金沢等への観光客が増加している。
- 平成34年度末には金沢－敦賀間が開業予定となっており、関東方面からの観光客が期待される。
- 丹南地域においても「南越駅(仮称)」が整備予定となっている。
- なお、北陸新幹線の敦賀－新大阪ルートについては、平成28年12月に小浜-京都ルートとする方針が決定されている。

国道417号トンネル(冠山峠)開通 /平成34年度

- 岐阜県から池田町の冠山峠を抜ける国道417号トンネルが開通予定となっている。その後、池田町と越前市を結ぶ(仮称)板垣坂トンネルが、平成36年度に開通予定となっており、中部圏からのアクセスが向上することによる観光客増が期待される。

中部縦貫自動車道の岐阜県・油坂－福井県・大野間の開通 /平成34年度

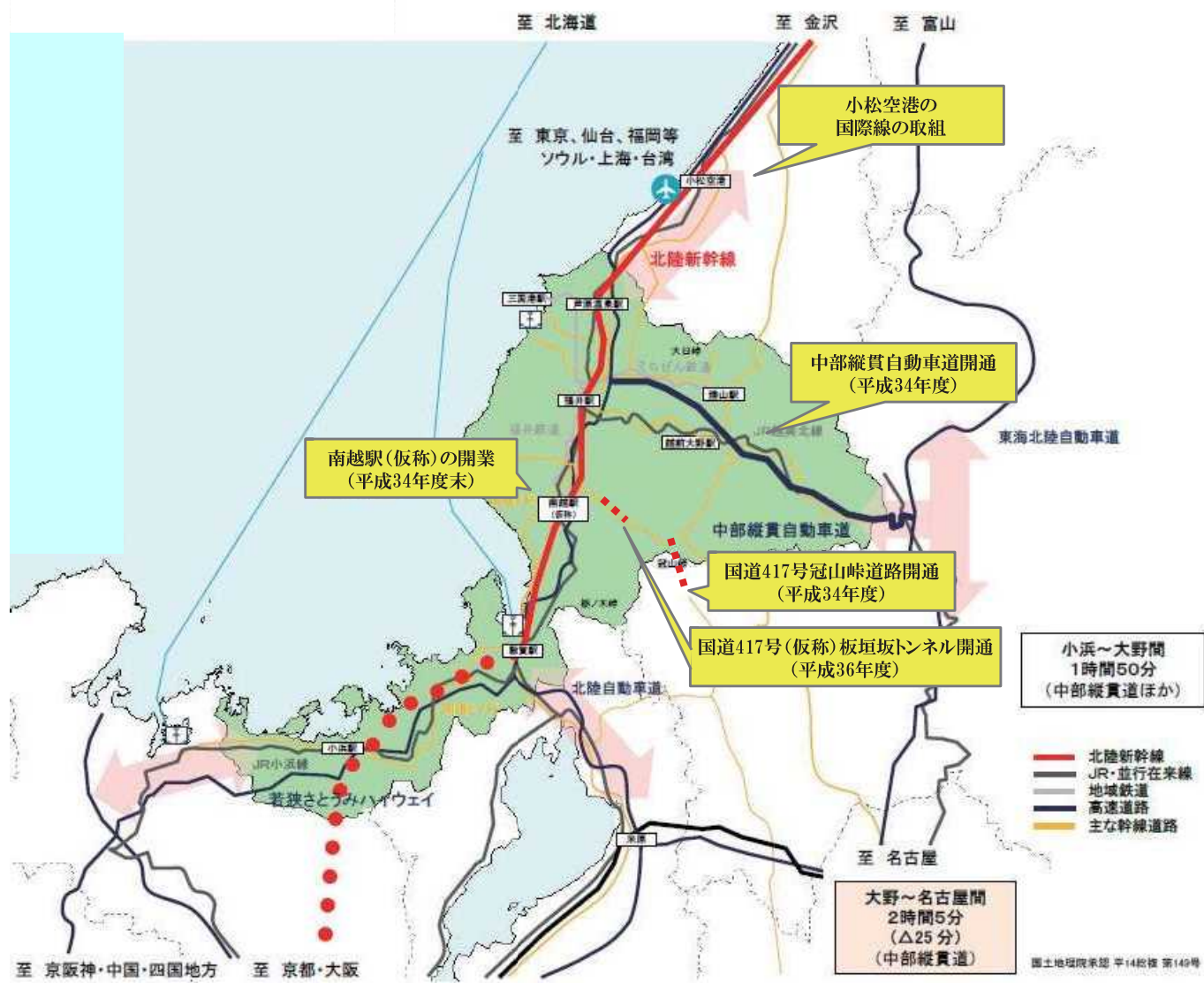
- 平成34年度に中部縦貫道の岐阜県・油坂－福井県・大野間が開通予定であり、これにより大野～名古屋間が2時間5分と現在よりも約25分短縮されることになる。
- 福井坂井地域、奥越地域へのアクセスが良くなる一方で、これまで中部圏から福井坂井地域や奥越地域に向けて名神高速道路・北陸自動車道を利用していた観光客が、中部縦貫道を利用することにより、丹南地域を通過しなくなる可能性が懸念される。

石川県・小松空港におけるインバウンドの動向

- 小松空港については、北陸新幹線の開業により羽田からの利用者数低迷が課題となっている一方で、訪日外国人向けでは、ソウル、上海、台北便が就航するなどポテンシャルが高まりつつある。
- 昇龍道プロジェクトの北陸側の重要な空港と位置づけられており、今後、さらなる利用客拡大が期待される。特に丹南地域におけるインバウンド誘客においては注視すべき動向と言える。

4. 交通の状況

図表 丹南地域に関わる主な交通の動向



(出所) 福井県「福井県高速交通開通アクション・プログラム」をもとに作成

Ⅲ. コンセプトとテーマ設定

1. コンセプト

■ コンセプト

越前ならではの「本物の体験の追求」

■ 取組方針

1. ここにしかない本物の体験を追求する

- 「ここでしかできない体験」を追求する。本物の体験を追求する。

2. 歩いて楽しめるまちをつくる

- 「伝統」と「暮らし」を楽しめるまちとして、車のみならず、歩いて楽しめるまちをめざす。

3. 顧客志向を大切にする。移り変わるニーズをしっかりと捉える

- 本物の素材の良さを引き出しながら、移り変わる顧客のニーズをきっちりと捉え、常に観光資源の磨き上げをこころがける。

4. エリア全体の総合力で勝負する

- 丹南地域には大規模な集客施設がない代わりに、エリア全体に豊かな観光資源が広がっていることを強みと捉え、各地域が連携を強固にし、エリア全体の総合力で勝負する。

5. 自らの誘客力を正確に認識し、ターゲットごとに周辺地域と連携し誘客を図る

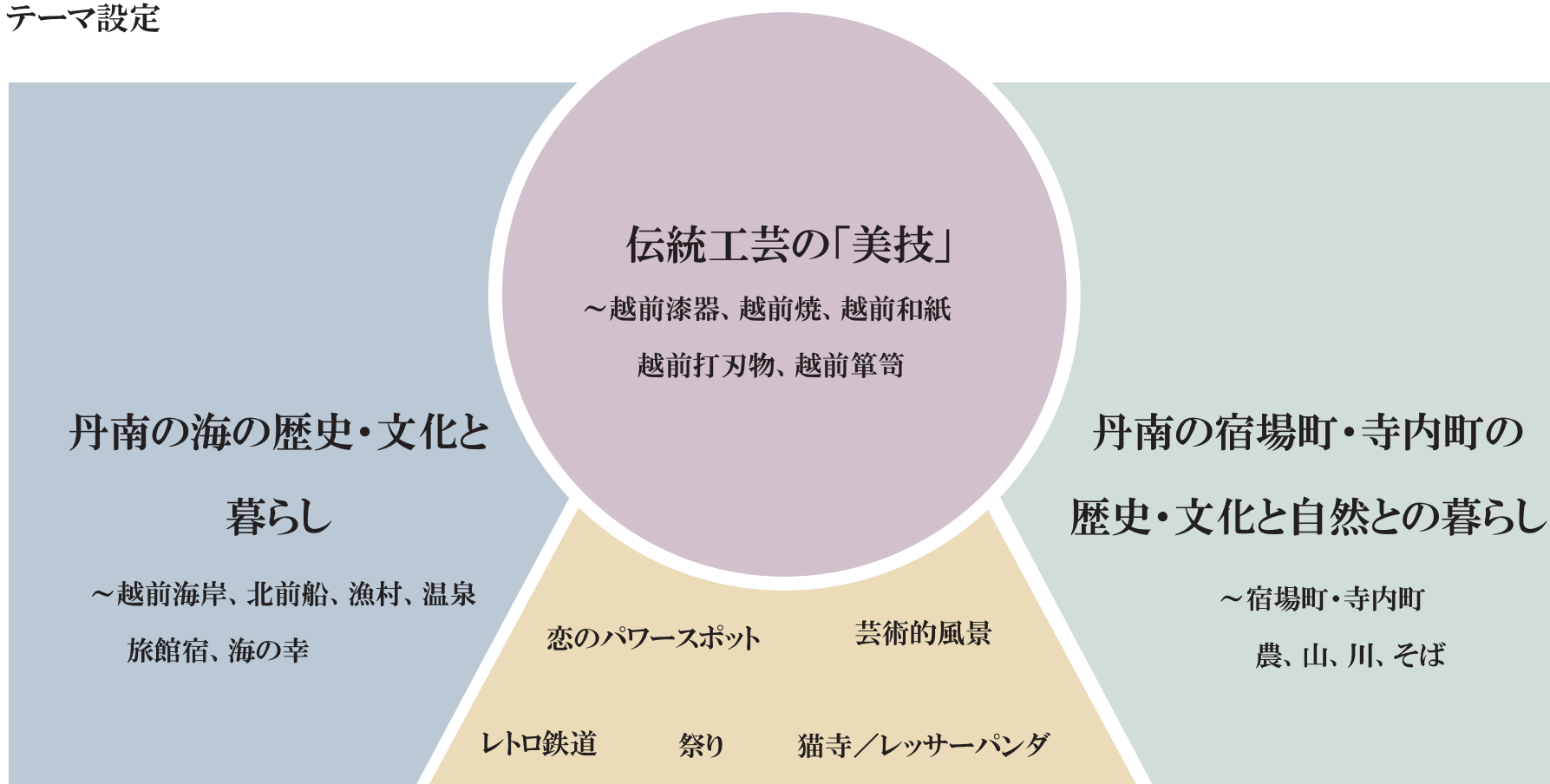
- 自らの力を正確に認識し、ターゲットごとに周辺地域(例えばファミリーであれば福井坂井、奥越等)と連携し誘客を図る。

2. テーマ設定

■ コンセプト

越前ならではの「本物の体験の追求」

■ テーマ設定



IV. ターゲットの考え方

1. ターゲットの考え方

■ 関西地域

シニアの個人・団体の拡大に加え、ファミリー・若者の誘客を増やす

- 鉄道、自動車のアクセスが良い関西地域は現在の丹南地域の最大顧客となっている。
- しかし県内他地域と比較すると決して多い状況とは言えず、既に多くのシェアをしめるシニアの個人・団体のより拡充を図る。
- またファミリーについては県内の恐竜博物館や芝政ワールドに多く訪れていることをポテンシャルと捉え、平成28年度にオープンした池田町のツリーピクニックアドベンチャーや、マリンレジャーやスキーなどのアクティビティの再ブランド化、農・漁業体験、伝統工芸を活用した工作体験等の充実により誘客を図る。
- また若者(女子旅等)については、伝統工芸体験等の本物に触れることによるリフレッシュ等を強みとし誘客を図る。

■ 中京地域

基本的には関西と同様のターゲット設定とし、特に宿泊とセットでのイメージ形成を図る

- 中京圏も関西圏と同様、鉄道、自動車のアクセスが良く関西圏に次ぐ顧客となっている。
- 中京圏は平成34年度に池田町から岐阜県に抜ける国道417号冠山峠道路が開通予定であるなど観光客の増加要素がある一方、中部縦貫道の岐阜県・油坂ー福井県・大野間の開通により丹南地域を通過する車の減少も懸念される。
- そのため丹南地域が観光客の立ち寄り先ではなく、目的地となることがより重要となる。基本的には関西圏と同様、シニアの拡大に加え、ファミリー・若者の誘客を図る。
- 特に中京圏については、日帰りが多いことが課題と言えることから、宿泊とセットでのイメージ形成を図る。

■ 北陸地域

北陸他地域と競合しないテーマでの誘客を図る

- 福井県を除く北陸地域は関西、中京に次ぐ顧客であり、関西の約1/3の規模となっている。
- 本計画で掲げる「北陸の豊かな伝統と暮らし」は同地域にとっては非日常感が低く、同様の取組を行う競合の地域があることから(例えば伝統工芸では石川、富山等)、十分な誘客力を発揮できないものと考えられる。
- そのため、他の地域と競合しないテーマや、丹南地域ならではの祭りやイベント等での誘客を図る。年齢層はシニア層を中心に据える。

1. ターゲットの考え方

■ 関東圏等

現段階で誘客可能性があると考えられる埼玉や長野を中心に開拓する

- 関東圏については、現状では非常に少ないが、北陸新幹線の開業により金沢への観光客が増加するなど、周辺環境は上向きつつある。
- また、将来的には平成34年度末の北陸新幹線の金沢-敦賀間の開業により、関東圏からの鉄道でのアクセスは良くなる一方、関西圏・中京圏からのアクセスは悪くなる可能性がある。これらの影響を踏まえて、関東圏のマーケットを現段階から開拓しておく視点は重要と言える。
- ただし現段階では東京や神奈川など首都圏の観光客が金沢から足を伸ばしたとしても、福井坂井地域等までと考えられ、丹南地域にまで足を伸ばすとは考えにくい。
- 東尋坊やあわら温泉とセットで丹南地域まで足を伸ばしてくれる可能性のある「埼玉県」や「長野県」などを中心に開拓を行う。特に年齢層はシニア層をターゲットとする。

■ 個人旅行／団体旅行

団体旅行の需要は確保しつつ、個人旅行の誘致に注力

- 旅行形態が団体から個人にシフトしていることや、観光地としてのレベルアップを図るためには個人旅行へ対応していく必要があることを踏まえ、今後は、団体旅行の需要は確保しつつも、個人旅行の誘致に注力をしていく。

■ 外国人

現在の来訪者のコアとなっているアジア圏をベースに、感度の高い欧米系外国人にアプローチする

- 福井県に来訪している外国人で最も多いのは中国・台湾を筆頭とするアジア圏である。しかし、他県と比べた時、現時点で丹南地域に来ている外国人は多くはない。小松空港なども活用しながら、福井県や石川県と連携しながら、アジア圏の人たちにアピールできる自然・景勝地観光や温泉などをテーマとした観光商品を組成していく。
- 一方で、欧米系の旅行者は、北陸新幹線開業を機に、石川県(主に金沢)に多く流入している。丹南地域では、欧米系の旅行者は全国の割合と比しても少ないことから、てこ入れを行う必要がある。具体的には彼らが感心を持ちやすい多様な伝統工芸品や日本の伝統的な暮らしを、実際に触れながら、感じ、知る体験をアピールすることが必要である。

1. ターゲットの考え方

■ 合宿旅行

安定需要として、引き続き関西・中京を中心に需要を取り込む。地域での周遊・消費拡大がポイント

- 丹南地域においては①各市町における誘致活動に加え、②施設使用料・宿泊料金等の安さ、③大都市圏からの近さが魅力となり、関西・中京を中心にクラブ・サークルの合宿に訪れている。
- 施設の安定的な稼働率の確保の観点から重要なターゲットであり、今後も引き続き誘致活動を行っていく。
- クラブ・サークルの合宿については、施設内での活動が多く、丹南地域の観光地の周遊や消費拡大につながっていないのが現状である。今後、地域での周遊・消費拡大に重点をおいて活動を進める。

■ 修学旅行

体験学習の需要を中心に誘致を図り、宿泊については福井市やあわら市等との連携を図る

- 修学旅行については、宿泊よりも各種体験学習の需要を中心に誘致を図る。
- 宿泊については、丹南地域に大型の宿泊施設が少ないことを踏まえ、小規模の宿泊の修学旅行(150名以下)を中心に誘致を図る。大型の修学旅行については他地域との連携を図る。

■ 特定テーマ

その他、鉄道ファンや動物ファンなどの特定テーマ市場を開拓する

- その他、エリア・年齢に限らず、レトロ鉄道を観光資源とした鉄道ファン、猫寺やレッサーパンダを観光資源とした動物好きなど、特定テーマ市場の開拓を進める。

V. 観光資源に関する取組み

1. 伝統工芸の「美技」に触れる

1. 伝統工芸の「美技」に触れる

■ 現状と課題

- 丹南地域には5つの伝統工芸(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前箆笥)が集積している。
- 伝統工芸については、石川や富山においても取り組まれており、本当の町家や工房を活用した体験施設や、デザイナー等とコラボレーションした商品開発が進められている。
- 丹南地域においては現在のところ、古くからの街並みを見学したり、その中で体験できる形というよりは、新たに整備された拠点施設における各種展示・体験プログラムが多い。
- また観光客への対応に関する職人等の協力や、観光客にとって魅力ある新たな商品開発や、体験プログラムの提供も課題と言える。
- 伝統工芸をテーマとする周辺他地域との差異化もさることながら、最低限のキャッチアップにも取り組んでいく必要がある。

■ 基本的な方向性

●ターゲットの目線に立った商品、プログラム開発を徹底する

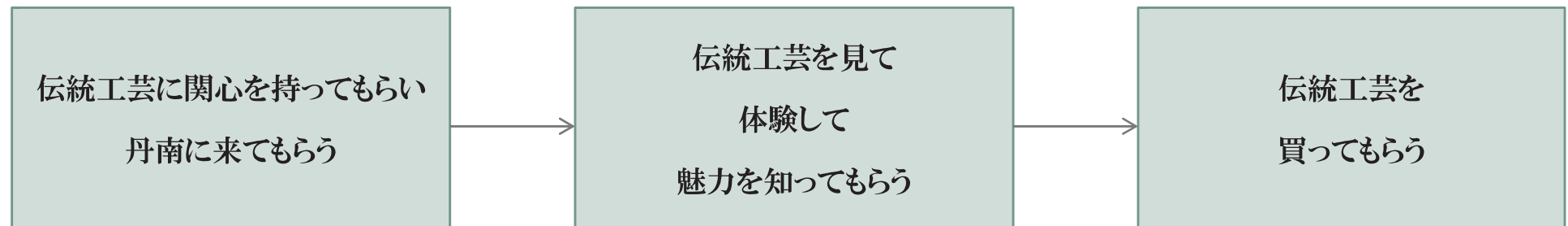
- これまでの伝統工芸の「形」にこだわらず、ターゲットの目線に立った商品開発、体験プログラム開発を徹底する。

●伝統工芸の魅力を知ってもらうためのモノ、コト、空間のすべてにこだわる

- 観光客が伝統工芸の魅力を余すことなく楽しむことができる空間づくりに注力する。

●「来てもらう」⇒「知ってもらう」⇒「買ってもらう」のプロセスを設計する

- 「関心を持って来てもらう⇒見て体験して魅力を知ってもらう⇒伝統工芸を買ってもらう」の一連のプロセスを考慮し取り組む。



1. 伝統工芸の「美技」に触れる

■ 取組

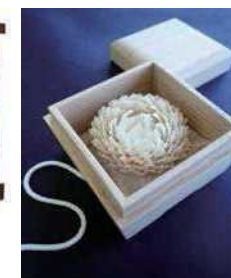
伝統工芸に
関心を持ってもらい
丹南に来てもらう

●観光客の関心を惹きつける伝統工芸のシンボル開発

- 伝統工芸の魅力を知ってもらうためには、まず多くの人々に伝統工芸に関心を持ってもらうことが重要である。
- 伝統工芸をこれまでとは違った新たな形で知ってもらえるようなシンボル開発について検討を行う。



越前筆筒



市兵衛の香白菊
(越前和紙)

●漆文化の情報発信事業の推進

- 他地域と連携し、伝統工芸のユネスコ無形文化遺産登録等を進める。

漆文化の情報発信事業	鯖江市	越前漆器をはじめとした漆文化のユネスコ無形文化遺産登録やイベントを通して広域的な漆文化のPRに取り組む。
------------	-----	--

●日本遺産認定後の伝統工芸の周知

- 日本遺産認定により、丹南地域の5つの伝統工芸について広く周知する。

日本遺産認定推進事業	鯖江市、越前市、越前町	越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆筒という伝統工芸産産地を周遊できる観光地域を形成して、日本遺産認定後に伝統工芸を広く周知する。
------------	-------------	--

伝統工芸を見て
体験して
魅力を知ってもらう

●日本一の伝統工芸の体験プログラムづくり

- 伝統工芸の各施設において、シニア、若者、子ども等、各ターゲット・ニーズにあった特色ある体験プログラムを開発する。他都市の先進事例の勉強、施設間の相互交流等を積極的に行い、地域全体の体験プログラムのレベルアップを図る。



子ども向けの夏休み伝統工芸工作体験

伝統工芸による観光まちづくりアクションプランの策定事業	鯖江市、越前市、越前町	多くの伝統工芸・ものづくりの技が集積する丹南地域ならではの強みを生かして、ここでしかできない観光まちづくりを進める。
日本一の伝統工芸の体験プログラムづくり等実証事業	鯖江市、越前市、越前町	前述の伝統工芸による観光まちづくり構想で設定したターゲット設定に向けた実証事業に取り組む。

1. 伝統工芸の「美技」に触れる

伝統工芸を見て
体験して
魅力を知ってもらう

●伝統工芸を楽しめる空間づくりの追求

- 観光客が伝統工芸の魅力を余すことなく楽しむことができる空間づくりに注力する。
- 本物の工芸工房等の体験や街並みを楽しめるよう環境整備を進める。
- また宿場町や寺内町等での体験プログラムの提供等について検討を行う。

越前打刃物拠点施設整備事業	越前市	打刃物拠点施設整備 ①研修工房：熟練者の技能を継承する場、②展示室：打刃物の歴史、製造工程の紹介や資料の展示、③研修会議室：完成した包丁の試し切り体験等
越前陶芸村活性化事業	越前町	陶芸村全体の誘客を推進するために、施設の整備（土産・飲食店の整備、竹林庭園の再整備、地域産業（越前瓦他）資料室（福井県工業技術センター内）の整備等）を行う。
めがねのまちさばえ観光誘客事業	鯖江市	鯖江駅東口からめがねミュージアムへ続く歩道を「メガネストリート」として整備し誘客を図る。

伝統工芸を
買ってもらう

●丹南地域の飲食店や宿泊施設での伝統工芸の魅力紹介による販売促進

- 丹南地域の飲食店や宿泊施設で、丹南地域の伝統工芸の「すぐれモノ」の利用を進める。
- 観光客が飲食をする際に、料理の紹介とともに、漆器の箸、越前焼の器等を紹介し、本物のすばらしさを説明する。気に入った人がすぐに購入できるよう、物販の仕組みを整備する。



越前漆器の食卓

伝統工芸とITを生かした地方創生事業	鯖江市	鯖江市と越前漆器協同組合、大学が連携し、新商品開発と販売方法を確立する。
--------------------	-----	--------------------------------------

2. 丹南の海の歴史・文化と暮らしを楽しむ

～越前海岸、北前船、漁村、温泉、旅館宿、海の幸

2. 丹南の海の歴史・文化と暮らしを楽しむ

■ 現状と課題

- 丹南地域の海に面する越前海岸は、江戸時代から明治時代にかけて日本海海運で活躍した北前船に関する文化や古くからの漁業に関する文化が残る地域である。
- 近代に入ると、海の景色、海水浴、越前がに、水仙、温泉等を魅力に観光地として栄え、今も海浴いには当時の面影を残す和風旅館が立ち並んでいる。
- しかし現在では全盛期と比較すると、人々のライフスタイルの変化(海水浴人口の減少等)や、競合となる観光地の増加等により、観光客は大幅に減少している。

■ 基本的な方向性

●レトロな空気感を大切にす

- 北前船主通り、古い漁港の風景、和風旅館等、レトロな雰囲気が今も残ることが越前海岸の良さと言える。
- 過去に全国の温泉地が旅館からホテルに建て替えられたなか、城崎温泉があえて旅館を守ってきたことが、現在の誘客につながっているように、越前海岸も“レトロな雰囲気”をまちの強みと捉え、その空気感(空間だけでなく、モノやサービス、おもてなし)を大切にす。

●滞在イメージを形成す

- 本地域には越前がにがあるにも関わらず、温泉などがセットとなった滞在地としてのイメージが低いため、冬場のカニのイメージは城崎温泉等の方が強い。丹南地域には温泉が多いにも関わらず、温泉街として認知されていないことを課題と捉え、温泉ブランドづくりに取り組み、滞在イメージの形成を図る。

●既存のイメージに新たなイメージを付与す

- 既存の海水浴、越前がに等のイメージに、北前船、花、バーベキュー等、新たなイメージを付与していく。



2. 丹南の海の歴史・文化と暮らしを楽しむ

■ 取組

海をいかした
体験を
充実する

●北前船の歴史に触れる体験の充実

- 北前船の歴史空間の再生に取り組むとともに、北前船の歴史を体験できるプログラムの充実、H27年7月に国重要文化財に指定された「中村家」公開、北前船主通りを案内するガイドの育成に取り組む。

北前船主通り魅力向上 ブランド発信事業	南越前町	H27年7月に国重要文化財に指定された「中村家」公開に関するPR事業。北前船主通りを案内するガイドの育成。
------------------------	------	---



河野北前船主通り

●海の文化と暮らしにまつわる体験プログラムの充実

- 魚を獲ってくる漁業者や水産加工業者、海の幸を供する旅館・ホテル等、「海」を生業とする地域の主体と連携して、海にまつわる体験プログラムの充実を図る。

(例) イカ釣り船乗船、定置網見学、釣り体験、地元調理体験等



漁船体験



越前がにミュージアム

2. 丹南の海の歴史・文化と暮らしを楽しむ

海の食文化を
堪能する

●北前船の歴史にまつわる食の復活

- 南越前町では、北前船ゆかりの食文化を活かして“河野北前膳”が開発されている。
- 地域の食文化を更に広く発信するために、北前船関連の新商品を開発する。

北前船主通り魅力向上 ブランド発信事業	南越前町	北前船関連の新商品開発を通して、地域の食文化を発信。
------------------------	------	----------------------------

●越前がにに続く、食のブランドづくり

- 越前海岸の海の幸としては、冬季の越前がにが有名だが、夏季のイカにも着目・発信することで年間を通じた宿泊客の増加に取り組む。
⇒「冬のカニ・夏のイカ」をワンセットにした観光商品の開発（イカを食べに来たお客様は、割安で冬のカニも食べに来られるプラン等）
- ふるさと納税の取り組みで、ホテル宿泊券、カニ・イカ食事チケット等、地域に訪れるインセンティブを与える返礼品を充実させる。



河野北前膳



イカ



越前がに

滞在地の
イメージを
形成する

●“越前温泉”のブランド確立

- “越前温泉”としてブランド化を図り、地域の温泉地としての認知度を高める。
⇒ロゴの開発、テレビ等を通じた発信（ロケの誘致等）
⇒宿泊客が散歩できるようなまちなみの整備
- 夕陽の美しさ等、これまであまり知られていなかった地域の魅力を発信する。
⇒歴史的景観やレトロな漁港と併せたイメージ戦略の展開
⇒立ち寄り客でも楽しめる日帰り温泉（ゆうばえ等）への、露天風呂の整備



越前温泉

3. 丹南の宿場町・寺内町の歴史・文化と自然との暮らしを楽しむ

～宿場町・寺内町、農、山、川、そば

3. 丹南の宿場町・寺内町の歴史・文化と自然との暮らしを楽しむ

■ 現状と課題

- 丹南地域は今庄や武生などの北陸道の宿場町として栄えた歴史を持ち、今もその面影を残している。
- また農や山(林業)に関する文化や暮らしが存在している。
- これらの資源は残されているものの、あまり活用されていないため、大きな誘客にはつながっていない。

■ 基本的な方向性

● タイムスリップ感を重視する

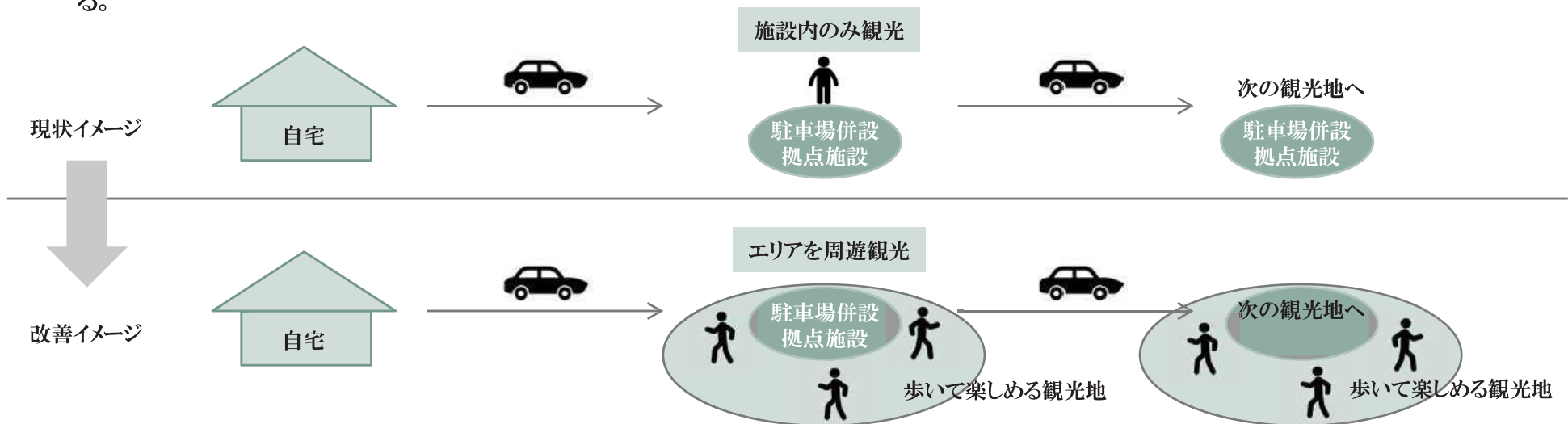
- 宿場町・寺内町、農と暮らしなど、観光客が古きよき日本を感じ、タイムスリップした気分になるよう、まちづくりを追求する。

● 歩いて楽しめる観光地づくりにこだわる。歴史的風景が残る施設に機能を集中的にMIXしていく

- タイムスリップした当時のゆっくりした時代を感じることができるよう、歩いて楽しめる観光地づくりにこだわる。
- 特に歴史的な風景が残る宿場町・寺内町へ、伝統工芸体験・ものづくり体験、宿坊・民泊、飲食、土産物販売等、様々な面から機能をMIXする。

● “特別な体験”を常に生み出す地域の力で勝負する ～復活、アレンジ

- 丹南地域の宿場町・寺内町、農の暮らしで当時の営みを再現・アレンジするなど、ここでしかできない体験を常に生み出す「地域力」で勝負する。



3. 丹南の宿場町・寺内町の歴史・文化と自然との暮らしを楽しむ

■ 取組

宿場町・寺内町
を磨く

●宿場町・寺内町におけるタイムスリップ空間の整備

- 観光客にタイムスリップを感じさせるような空間形成(建物のみならず、道路舗装や街灯等にもこだわる)を進める。

劔神社周辺整備事業	越前町	周辺道路の石畳の整備、空き家を活用した土産・軽食店の整備、観光物産館の再整備
-----------	-----	--

●宿場町・寺内町への機能MIX

- 当時の面影を強く残す「宿場町・寺内町」を地域の大きな資産と捉え、これらの施設へ伝統工芸体験・ものづくり体験、宿坊・民泊、飲食、土産物販売等、観光客が楽しめる様々な機能を“集中的”にMIXさせる。
- 機能移転、起業育成、外部事業者の誘致等、様々な面から機能MIXに取り組む。

●宿場町・寺内町の当時の体験プログラムの充実

- 荷馬車、天秤棒、竹笠等、当時の営みの再現や、伝統的な踊りなどの体験プログラムを観光客に提供する。

今庄宿魅力向上ブランド発信事業	南越前町	まち歩きを楽しむ体験メニューの充実(羽根曾踊りの体験プログラム作成、今庄4酒蔵巡り、街道沿いに行灯を設置し、夜のまち歩きイベント開催)、今庄宿関連の新商品開発、HP等の情報発信媒体の充実
散策ルートでのPR推進事業	越前市	丹南地域全体で歩いて楽しめる街をつくるため、看板・ちらしを制作して観光地ごとの散策ルートをつくってPR:看板制作、ちらし印刷、広報 ①まちなか ②今立 ③味真野 など



今庄宿



羽根曾踊り

3. 丹南の宿場町・寺内町の歴史・文化と自然との暮らしを楽しむ

自然との暮らしを
体験できる
仕組みをつくる

●丹南地域の自然や暮らしを肌で感じる交流カフェの整備

- 旅行者がまず立ち寄って現地の人と交流し、お勧めの食べ物や過ごし方、その土地での暮らし方、楽しみ方を知ることができる場を整備する。
⇒地元の人しか知らない、ガイドブックに載っていないおすすめスポットを知る

「いけだ川の駅（仮称）」 整備事業	池田町	田園風景の中で、安全に本物の川に触れて楽しめるよう、親水護岸や川床デッキや木のおもちゃを配置した子供向けのカフェ等からなる自然体験交流施設を整備する。
----------------------	-----	---

●自然や暮らしの体験プログラムの充実

- 現在のツリーピクニックアドベンチャー等に加えて、丹南地域の農や暮らしに関する体験（農作業体験、料理体験、昔遊び体験等）の充実を図る。

●観光施設としての農家民泊等の推進

- 単なる宿泊施設としてではなく、観光施設としての農家民泊等を推進する。



農家民泊

●“越前そば“のブランド化の推進

- 丹南地域の代表的食である越前そばのブランド化を図り、そばの名産地としての認知度を高める。
- そばの実摘み体験、そば打ち体験などを通じて「世界で一番新鮮なそば」を食べる体験を売りにする。

●丹南でしか食べられない食の掘り起こし

- 丹南ならではの食（家庭料理含む）の発掘を行う。また歴史書等から、丹南で昔食べられていた料理等を発掘し復活させる。復活した食の丹南の施設等での提供を促進させる（レシピ提供等）。



越前そば

ここならではの
食ブランドを
つくる

丹南ならではの食の発掘・ 開発・PR事業	丹南5市町	既にある越前がに、越前そば、ボルガライス等に加え、新たに丹南地域ならではの食（家庭料理含む）の発掘・開発を行う。
-------------------------	-------	--

4. 特定テーマ

4. 特定テーマ

(1) アクティビティ

■ 現状と課題

- 丹南地域には海水浴場、ダイビングスポット、今庄365スキー場等のアクティビティがある。ただし他の同種施設に比べると規模が小さく、集客数も限られている。
- また平成28年度にオープンしたツリーピクニックアドベンチャーは人気を博している。

■ 取組

● 安全・安心のアクティビティエリアとしてのブランド化

- 安全・安心に楽しめるのが丹南地域のアクティビティの特徴と捉えて、小さな子供を持つファミリー層、高齢者、あまり雪に触れたことが無い外国人等へ売り出していく。



ツリーピクニックアドベンチャー



今庄365スキー場

(2) 恋のパワースポット・縁結び

■ 現状と課題

- 丹南地域には万葉の里、西山公園の結びのチャイム、池田町のかずら橋、越前海岸の恋の社、あなたの思う壺など、恋、縁結びにまつわる資源が多く存在し、人気が高まっている資源も存在する。ただし全国的な知名度はそれほど高くはないのが現状である。

■ 取組

● 恋のパワースポットとしてのブランド化

- 恋のパワースポットに関する各資源のブランド力の強化を図る。
- またストーリーを構築するなど各資源のネットワーク化の検討を行う。

万葉の里「恋のパワースポット」整備事業（ハード・ソフト）	越前市	万葉の里は、継体天皇と照日の前の恋物語や、中臣宅守と狭野弟上娘の恋の相聞歌があることから、万葉の里を恋のパワースポットとして、園内の整備を行い、「恋」をキーワードに様々な仕掛け、切り口で誘客を図る。
------------------------------	-----	---



越前海岸：恋の社



越前海岸：あなたの思う壺



万葉の里



西山公園：結びのチャイム



かずら橋

4. 特定テーマ

(3) 芸術的風景を写すカメラツーリズム

■ 現状と課題

- 丹南地域には雲海、波の花、海に沈む夕日など、自然が生み出す丹南地域ならではの芸術的な風景が存在する。
- また春の桜、つつじ、菖蒲、夏の花はす、バイカモ、秋の紅葉、菊人形、そばの花、冬の水仙や雪吊りなど、四季折々の風景が存在する。

■ 取組

●カメラツーリズムのスポットとしてブランド化

- 近年のカメラ人気に伴い、人気の撮影スポットを周るカメラツーリズムが流行している。
- 丹南地域の四季折々の風景を強みに「撮影スポットの紹介」や旅行代理店等と連携した「団体ツアー商品の企画」等を形成する。

カメラツーリズム推進事業	丹南5市町	近年のカメラ人気に伴い、丹南地域のイチオシ撮影スポットの紹介や、カメラコンテストの開催、団体バスツアーの企画検討を行い、カメラ好きの観光客の誘客を図る。
--------------	-------	--



池田町の雲海

(4) レトロ鉄道のまち

■ 現状と課題

- 丹南地域には南越前町の旧北陸線の鉄道遺産(トンネル、スイッチバック、給炭台・給水塔等)や、福井鉄道の旧車両などレトロ鉄道が残っており、保存・活用の機運が高まっている。

■ 取組

●レトロ鉄道のショーケース化と体験の充実

- 観光客がレトロ鉄道を楽しめるよう、鉄道遺産の保存・活用、ミュージアムの設置等、ショーケース化を進めるとともに、子どもや鉄道ファン等を対象とした各種体験プログラムを充実させる。

北府駅ミュージアム整備事業	越前市	レトロな雰囲気の残る北府駅の観光客を増やすため、福井鉄道の200形車両を保存展示する鉄道ミュージアムを整備する。また、周辺に広場(ミニ公園)を整備する。
鉄道遺産を活用した観光まちづくり事業	南越前町	山中スイッチバックの周辺整備、案内看板作成、扁額レプリカ作成、鉄道公園整備



鉄道遺産ハイキング



北府駅

4. 特定テーマ

(5) レッサーパンダや猫と過ごす

■ 現状と課題

- 越前市にある御誕生寺(ごたんじょうじ)が今、猫寺として全国の猫好きから注目されており、TVにおいても度々、紹介されている。
- また鯖江市の西山公園ではレッサーパンダに触れ合える施設があり、繁殖数では国内で有数を誇っている。

■ 取組

● レッサーパンダと猫寺の積極的プロモーション

- 最近、注目が高まりつつある猫寺をPRするとともに、レッサーパンダに触れ合える場として西山公園をPRし、猫好き、レッサーパンダファンの誘客を図る。



猫寺



レッサーパンダ

(6) 丹南ならではの祭りを楽しむ

■ 現状と課題

- 丹南地域にはさばえつつじまつり、越前市サマーフェスティバル、越前陶芸まつり等の祭りが開催されている。
- しかし現状では地元観光客が中心であり、広域からの観光客は限定的な状況にある。

■ 取組

● 特色のある祭りのブランド化

- 越前かにまつりなど、広域から集客可能な祭りをターゲットエリアに向けてPRする。
- 観光客に様々な祭りに関心を持ってもらえるよう、各祭りの連携(祭りのスタンプラリーなど)についても検討を行う。



越前町「越前かにまつり」



鯖江市「すりばちやいと」



越前市「ごぼう講」



南越前町「妙泰寺：七福神祭り」

4. 特定テーマ

(7) 紫式部が暮らしたまち

■ 現状と課題

- 紫式部が京の都を唯一離れ住んだ土地である越前市には紫式部公園とその無料休憩所として、藤波亭がある。
- しかし現状では地元観光客が中心であり、広域からの観光客を呼ぶための訴求が必要である。

■ 取組

● 紫式部が京の都を唯一離れ住んだ土地としての訴求強化及び観光資源としての磨き上げ

- 藤波亭を資料館として再整備し、紫式部が京の都を唯一離れ住んだ土地であることの訴求強化を行う。
- 釣殿、平橋、反橋、藤棚や花壇など当公園の写真スポットとしての美観改良を行う。
- 源氏物語や紫式部が辿った道のつながりから、丹南エリアの恋スポットや宿場町等への誘導を行う。



藤波亭



紫式部公園